

日時：R7 年 1 月 12 日 14 時～17 時（14 時集合、15 時点火）

1 事前準備

- ・小南宮司所有の竹林から小南宮司が竹の伐採。
年末に小南宮司宅から志賀神社まで、竹の運搬（小南宮司、成清、松本）軽トラ 2 杯
- ・芯木にする竹を志賀神社駐車場横の竹林から切り出す
- ・雑木を志賀神社まで運搬（1 月 11 日（土）午後 1 時～、児玉（照）、新丸、成清）
- ・準備物：点火トーチ（5 本、実際には 4 本使用）、書初め用の竹（2 本）、火かき出し用の木の棒（2 本）、雑木（児玉照明さんより提供）、お神酒、お茶

2 とんど祭り当日

（1）準備物

- 金棒、灯油、灯油の受け皿（バケツに灯油を入れてトーチに灯油を浸み込ませる）、点火トーチ（5 本）、点火口（5 か所、実際には 4 本、4 か所）、チャッカマン、水（18ℓ タンク 1 杯）、噴霧器（1 台、消火用）、消火器、お盆（2 枚）、紙コップ、紙皿、道具箱（斧、のこ、釜、針金、ペンチなど）
- ・懐中電灯（火の後始末が暗くなるので、今回は必要がなかった）

（2）やぐら組み（13：50～14：17）

参加者：中の村当屋約 22 名 瀬谷当屋総代樋川さん

- ・多田総代長の指示の元、やぐらを組み立てる。
 - ・事前に必要のない竹の笹を切り落とす。
 - ・芯木にしめ縄を 2 本取り付ける。（竹を立てかけた時の締め付け用）
 - ・芯木の位置を決め金棒で穴を掘り、芯木を立てる。その周りに雑木やマキを立てかけさらに竹や門松等を立てかけていき、適宜にしめ縄で周囲を締める。
 - ・最後に大しめ縄を外側に巻いて終了。
 - ・神事をする正面の体裁を整える。点火口 4 か所を作る（燃えやすいもの）
- 要領よく進み予定より早く終わったので、点火まで時間があり一旦解散する。

4 点火（14：50～）

神事：午前中に本殿で済ませた（小南宮司は、家族がインフルのためとんど不参加）。

点火：松本金御幣、末国行事総頭領、中田常会長、成清総代が 4 か所からトーチで点火

- 火がかなり高くまで立ち上がったが、幸い飛び火になることはなかった。
- 点火からしばらく経って少しずつ餅焼きの人が集まってこられた。今年は例年になく餅焼きの人が少なかった。4 時半ごろ人も少なくなってきたので消火準備を始める。噴霧器、水タンクで消火。最後、付近の雪を運んできて消火する。

5 消火・解散（17：00）

多田総代長の終了のあいさつで解散